

372xx-62□3-00□ PL

ミニ・クランプ

ボードマウントソケット

ストレート型 1列、2列タイプ

- 高密度実装を実現
- 列間ピッチ方向にスタック実装することにより、ワイヤーマウントプラグを6.5mmの等ピッチで実装可能
- 固定ピンによる基板への確実な保持
- 業界標準 **e-con** 準拠コネクタ 注1
- 感電、短絡防止のため、コンタクトをボディ内部に配置



RoHS Compliant

[材料及び処理]	■部品名	■材料及び処理	■備考
	ボディ	66ナイロン	UL94V-0 黒色
	コンタクト	銅合金	接続部 : ニッケルメッキ下地、金メッキ0.2μm以上 テール部 : ニッケルメッキ下地、金フラッシュメッキ
[適合対象]	■コネクタ	ミニ・クランプ ワイヤーマウントプラグ 371xx-xxxx-xx0 FL	
	■基板	穴径: φ1.0mm、基板厚: 1.0~1.6mm	
[定 格]	■項目	■規格	
	電圧	AC/DC 32V以下	
	電流	最大3.0A	
	使用温度範囲	-20~85°C (1A通電時) / -20~75°C (2A通電時) / -20~60°C (3A通電時) ※結露・水滴無きこと	
[単体特性]	■項目	■規格	■条件
	半田付け性	95%以上のぬれ、又はゼロクロスタイム3秒以下	Sn-3Ag-0.5Cu半田使用 ぬれ性評価: 245°C、3秒浸漬 / メニスコグラフ法245°C
	半田耐熱性	試験後、外観に著しい変形なきこと	浸漬半田: 260°C、10秒、2回 又は263°C、3秒、2回まで ※プリヒートは部品表面温度100°C以下、60秒以内 手半田 : 390°C、3秒、2回まで
[物理的特性]	■項目	■規格	■条件
	挿抜力	挿入力: 1.96N(200gf)/pin以下 抜去力: 0.49N(50gf)/pin以上	弊社適合コネクタとの組合せによる。挿抜スピード5mm/分で測定する。規格は単極あたりの算出値。
	耐久性	試験後、接触抵抗増加値(25mΩ以下)を満足すること。	挿抜50回
	耐振動性	試験後、接触抵抗増加値(25mΩ以下)を満足すること。瞬断1μ秒以下。	振動試験時に瞬断を測定する。(表1参照)
	耐衝撃性	試験後、接触抵抗増加値(25mΩ以下)を満足すること。瞬断1μ秒以下。	50G、11m秒、X・Y・Z方向 各3回。
[電気的特性]	■項目	■規格	■条件
	耐電圧	漏れ電流1mA以内で絶縁破壊が発生しないこと。	隣接コンタクト間にAC1000VRMSを1分間印加。
	絶縁抵抗	1000MΩ以上	隣接コンタクト間にDC600V印加し1分後、測定する。
	瞬断	試験中に1μsec以上の瞬断が発生しないこと。	振動試験は3Mシーケンス2として実施。
	接触抵抗	初期接触抵抗50mΩ以下 各環境試験後の接触抵抗増加値が25mΩ以下のこと。	抵抗測定電流1mA、開放電圧20mVの4端子法にて測定する。(弊社適合コネクタとの組合せ時であり、コンタクトのバルク抵抗を含む。) ●3Mシーケンス 1/50回挿抜→耐湿試験→塩水噴霧試験 ●3Mシーケンス 2/熱衝撃試験→湿度試験→振動試験 ●3Mシーケンス 3/高温寿命試験 ●耐久挿抜試験/500回挿抜 * 各種環境試験条件は表1参照

表1

■試験項目	■試験条件
耐湿試験	-10~65°C、95%RH/10サイクル
塩水噴霧試験	塩化ナトリウム5%溶液、35°C/48時間
熱衝撃試験	-55°C→25°C→85°C→25°C/5サイクル
湿度試験(定常状態)	40°C、95%RH/96時間
高温寿命試験	85°C/1000時間
振動試験	10→55Hz、振幅1.52mm又は10G、1分間掃引/X・Y・Z方向各2時間

注1) **e-con** (Easy & Economy Connector); 主要なコントローラメーカー、センサーメーカーおよびコネクタメーカーでセンサーコネクタの標準化を検討・推進しています。その目的は従来のセンサーコネクタの諸課題を解決することにあります。

372xx-62□3-00□ PL

ミニ・クランプ
 ボードマウントソケット
 ストレート型 1列、2列タイプ

■オーダーインフォメーション

372xx-62□3-00□ PL

極数表示

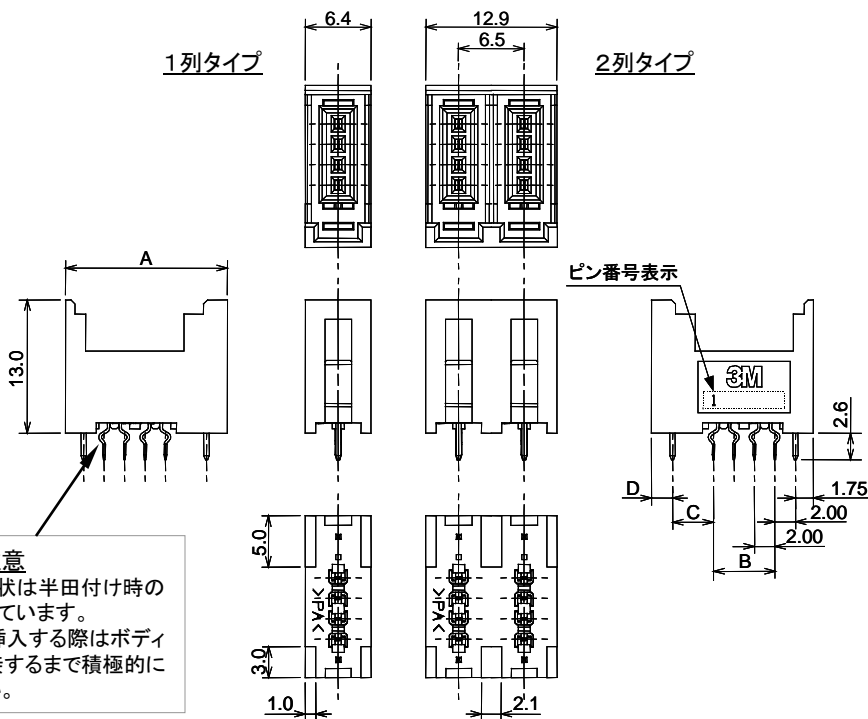
- 03 : 3極
- 04 : 4極
- 06 : 6極(3極×2列)
- 08 : 8極(4極×2列)

適合ワイヤーマウントプラグ極数表示

- 3 : プラグ3極
- 4 : プラグ4極

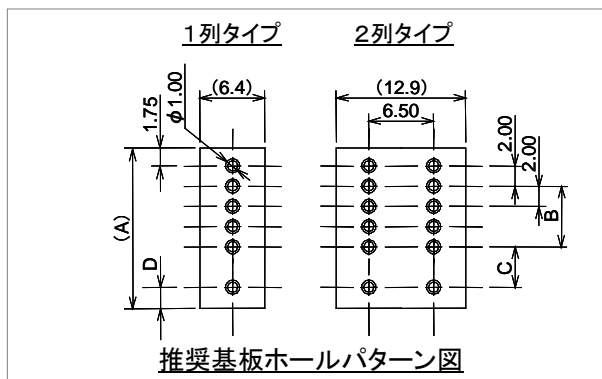
基板固定ピンタイプ(位置)

- A : 誤挿入防止タイプ
- B : 等ピッチタイプ



基板実装時の注意

ソルダータール形状は半田付け時の仮保持機構を有しています。コネクタを基板に挿入する際はボディ底面が基板面に接するまで積極的に押し込んでください。



■極数	■製品番号	■A	■B	■C	■D
3	37203-62A3-003 PL	13.8	4.00=2.00×(3-1)	4.00	2.05
3	37203-62B3-003 PL	13.8	4.00=2.00×(3-1)	2.00	4.05
4	37204-62A3-004 PL	15.8	6.00=2.00×(4-1)	4.00	2.05
4	37204-62B3-004 PL	15.8	6.00=2.00×(4-1)	2.00	4.05
6(3極×2列)	37206-62A3-003 PL	13.8	4.00=2.00×(3-1)	4.00	2.05
8(4極×2列)	37208-62A3-004 PL	15.8	6.00=2.00×(4-1)	4.00	2.05

指定外寸公差

寸法	.0	.00
公差	±.3	±.13